

氷川中の風

文責:校長

中 島 綱 紀

NO. 11

日々の充実と凡事徹底

中学校の一日は、いろんな委員会活動で動いています。新しく委員長になった2年生たちが全校生徒を前に、各委員会の今月の取組を説明します。委員長たちは真剣な顔で訴えます。「日々、当たり前のことを当たり前にやっています。」と。氷川中学校の一日を創っているのは生徒たちです。さあ、2年生たち。偉大な先輩たちから何を引き継ぎ、未来へ向けて何をしてくれるのか、楽しみです。



黙々とただひたすらに無言清掃



掃除の時間は、一日の中で一番静かな時間です。生徒も先生たちも黙々と校舎を磨きます。無言清掃は先輩たちから受け継いでいる伝統です。写真は一年生の竹尾君で、職員室につながる階段を一人で担当しています。手すりから階段の隅まで徹底して磨くその背中に、一年間の確かな成長を感じます。「氷川中プライド」を継承するチーム氷川中の一員です。4月、新入生たちはこの背中に学んで氷川中学生になっていきます。歴史は繰り返します。

二年生の「志」、天高く!!

2月7日(火) 2年生は竜峰山に登り立志式をやりました。龍峯地区の史跡を散策し、氷川中OB「氷川会」の皆様が作ってくださった豚汁で腹いっぱいになったところで、それぞれが抱く大志を発表しました。将来の夢・憧れ・希望、そして、そこに至るまでの決意と親や地域の人への感謝の思いを大声で発表しました。龍の背で大志を叫ぶ青年たちの熱い言葉は、豚汁パワーをもらって、冬の青空へ駆けのぼりました。



御 礼

氷川中は「地域に貢献する学校」でありたいと、町の人たちといろんなことをやってきました。祭りや行事に参加しました。農業・職場体験をさせていただきました。バザーもやりましたし、いろんな人に学校に来てもらいました。町の皆様の温かい応援がとても嬉しく励みになりました。4月から新しいチーム氷川中でがんばります。ご期待ください。ありがとうございました。生徒、教職員、PTA一同